



Guts!通信

討議資料



横浜市会議員(戸塚区選出)
坂本勝司 市政報告 2023年8月号
発行責任者: 坂本勝司事務所

横浜市会議員 坂本勝司

★戸塚のために★

いずれ起こる大地震に備える



日本の地震災害で最多の犠牲者を出した1923年(大正12年)9月1日の関東大震災から今年で100年を迎えます。

神奈川県は、いくつものプレートが交錯する地域に位置しています。また、約30本もの活断層が確認されており、いつ、どこで、大きな地震が起きてもおかしくないのが現状です。

首都直下地震では、横浜市・川崎市を中心に震度6強を想定。死者想定も2万人を超え、全壊・焼失家屋も60万棟におよぶ被害想定です。また、南海トラフ地震では最大震度7を想定し、広域にわたり6強から6弱の強い揺れを予測しています。南関東地域では、マグニチュード7クラスの地震が今後30年間で70%の発生確率です。今こそ過去から学ぶ教訓と、家庭防災の強化を考え、減災への対応、大地震への備えを進めましょう。

<<関東大震災から100年の今だからこそ、防災意識を高めよう!!>>

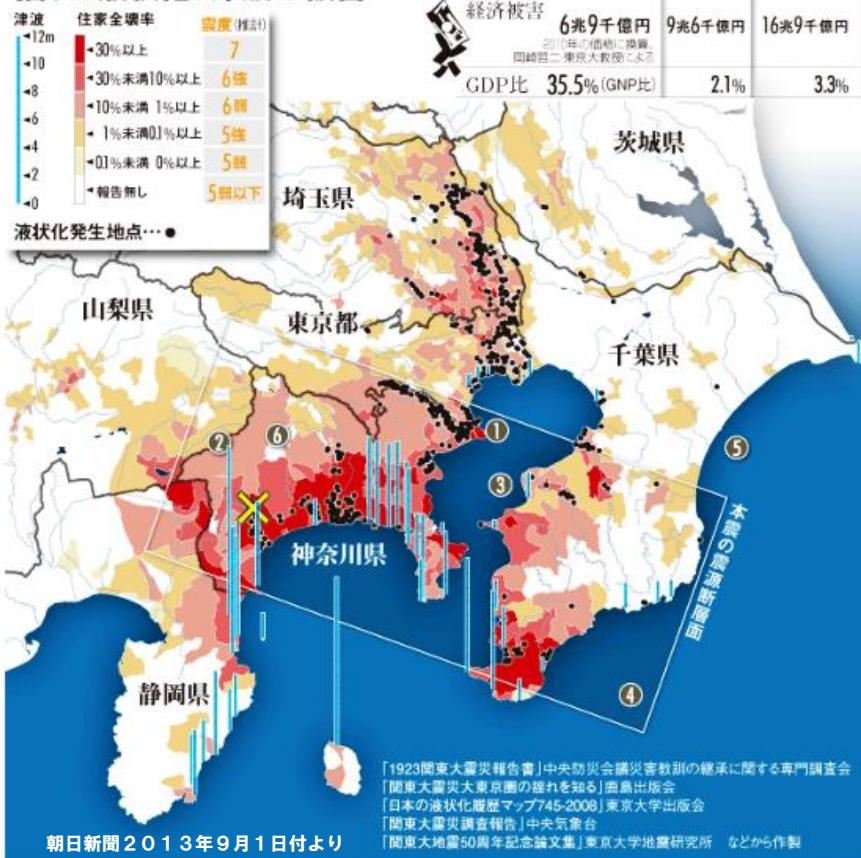
本震と余震の分布

震源 マグニチュード		本震 X M7.9 1923年9月1日 11:58	主な余震
①	M7.2	12:01	
②	M7.3	12:03	
③	M7.1	12:48	
④	M7.6	11:46	
⑤	M7.1	18:27	
⑥	M7.3 (円沢地震)	1924年1月15日 05:50	

主な巨大地震の被害

関東大震災	阪神大震災	東日本大震災
M7.9	M6.9	M9.0
気象庁は M7.3	2011年3月11日 現在、警戒行進との 比較	
死者・行方 不明者 10万5千人余	6,437人	18,539人
けが人 10万3千人余	43,792人	6,145人
建物 全半壊 約21万棟	約25万棟	約40万棟
経済被害 6兆9千億円 2010年の価格に換算。 四捨五入 東京大震災による	9兆6千億円	16兆9千億円
GDP比 35.5%(GNP比)	2.1%	3.3%

揺れ、液状化、津波の被害



↑開港以来形成された異国情緒溢れる街並みは震動とその後の大火灾で一気に壊滅状態に

←発災後10日目には仮設会場にて横浜市会が開会され、震災後の対応を市長の自由裁量に一任する決議がなされた。

シェイクアウト訓練 地震が発生した時は、自らの身は自ら守る

DROP!
(まず低く!)

COVER!
(頭を守り!)

HOLD ON!
(動かない!)

[「かながわシェイクアウト」いっせい防災行動訓練\(神奈川県ホームページより\)](#)

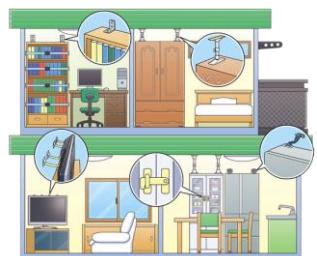
○家具が転倒しないよう、家具は壁などに固定しましょう。

○寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。

置く場合も

○なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう。

○家具の向きや配置を工夫しましょう。手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。



チーム戸塚!活動中!!



舞岡在住の西岡よしたか
46才岡津高校出身!

国民民主党政策委員会

戸塚区&泉区のために活動中!



CHECK!

横浜市からみなさまへお知らせです。

check 横浜駅周辺周辺地区における災害時の情報発信を強化します！
駅周辺施設の事業者と連携し、デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信を開始

坂本勝司の主張として、駅や街中でのデジタルサイネージの活用を強く訴えています。災害時の情報発信は市民の行動にとって大切な情報として必要ですし、日頃からの各地域の人流などもAIなどの連携で混雑回避もでき、交通関係の必要情報も分かり易く確認出来る利点があります。特に必要性を訴えているのはみなとみらいの様に何万人ものイベント開催が可能な施設が多いところは人の流れを制御出来ることから、日常の安全にも繋がり、一日も早く設置をすべきであると議会において発言しています。横浜市民がより安全に安心して生活できる環境整備を進めて参ります。



★エコハマ 横浜市エコ家電応援キャンペーン★

エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン）の実施期間は、令和5年8月下旬から令和6年1月末を予定しています。なお、予算上限（20億円）に達し次第、終了となります。本事業の財源は国の新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金で、物価高騰対策として実施されるものです。

対象となるエアコン・冷蔵庫・LED照明器具（LED電球は対象外です）、三つの家電のうち、資源エネルギー庁が定める「統一省エネラベル」で一定以上の評価点のある製品がポイント還元の対象となります。還元されるのはエアコンと冷蔵庫は一人一台まで、LED照明器具は二台まで。店舗は事前にキャンペーン参加を登録し、どの製品が対象になるかなどを購入希望者に説明することとなっています。またインターネット上の購入は対象外となりますのでご注意下さい。

キャンペーン期間 8月下旬～来年1月末

対象家電 エアコン、冷蔵庫、LED照明器具

※一定の省エネ性能基準（多段階評価点（★の数））を満たすもの

製品	省エネ性能
エアコン	★3（新基準※2）以上 ★4（旧基準※3）以上
冷蔵庫※1	451L以上 450L以下
LED照明器具	★3以上 ★2以上 ★4以上

※1・・・冷凍庫含む（451L以上は除く）

※2、3・・・エアコンは2022年10月に、2027年度を新たな目標達成年度とする基準（新基準）を設定



詳細は QR コードより
横浜市 HP にてご確認下さい。



申請方法 オンライン申請を基本とし、郵送での申請も受け付けます。

対象店舗 市内登録店舗（今後登録店舗を募集）

還元率・上限 購入金額の 20%、1台あたり上限 3万円分

※エアコン・冷蔵庫は1人1台、LED照明器具は1人2台まで申請可能

※電子ポイントまたは紙の商品券での還元となります。

<キャンペーン実施効果（想定）>

CO2削減量：約2,200世帯分の年間CO2排出量に相当する約5,800トン

check 小児医療費助成の取り扱いは、令和5年8月より中学校3年生までの所得制限等をなくしました。

中学3年生までの全てのお子さまに安心して医療機関等で受診していただけるよう、令和5年8月から、所得制限や、通院時にお支払いいただいている1回500円までの窓口負担をなくしました。
※入院の差額ベッド代や文書料、健康診断、選定療養費等、保険給付とならないものは、8月以降も助成対象外です。



横浜市議会を見学しませんか？



横浜市議会の本会議場や委員会室、特別応接室などなど1時間程度の見学コースです。是非お越しください！
希望される方は、坂本勝司事務所まで！ 045-869-0702

坂本勝司活動アルバム

地域で見かけましたら是非お声掛け下さい！



※ 地域改善活動：道路の整備・改善、急傾斜地対策、住宅問題、河川環境、草除去 等々 地域のご相談は坂本事務所まで！

お問い合わせ：坂本勝司事務所 045-869-0702まで